

# 景況レポート 7月

## 7月の県内景況は、前月に比べ悪化。一部業種においては、原材料費の高騰が利益を圧迫している。

情報連絡員による平成29年7月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は13.8%（前月比-0.5）となっており、「横這い」は39.6%（同-1.5）、「低調」とするところが46.6%（同+2.0）、業界全体の「景況感DI」は-32.8%（同-2.4）となっています。

### 1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「取引条件」、「収益状況」、「雇用人員」の3項目が前月と比較して好転しています。

### 2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、「快晴」または「晴れ」の業界はなく、食料品製造業、木材木製品製造業、卸売業、建設業が「曇り」または「薄曇」、その他の業種は「大雨」または「雨」となっています。

◇来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が、20.7%（前月比-2.5）と減少しております（好転の回答1件、やや好転の回答11件）（製造業5、非製造業7）。一方、変わらないが、60.4%（前月比+5.0）と増加しております。やや悪化、悪化の見込みは、18.9%（前月比-2.5）と減少しております。

平成29年7月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率96.7%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	14.29	-28.57	0.00	0.00	0.00	-28.57	-28.57	-28.57	0.00	-14.29	0.00	-28.57
繊維製品製造	0.00	0.00	0.00	-33.33	0.00	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-66.67
木材木製品製造	0.00	-25.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-25.00
鉄工機械製造	-50.00	-100.00	0.00	-25.00	-25.00	-50.00	-25.00	-25.00	0.00	-25.00	-50.00	-50.00
その他の製造	-42.86	-71.43	0.00	-14.29	-28.57	-14.29	-28.57	-14.29	0.00	28.57	-42.86	-57.14
卸売業	-50.00	25.00	-25.00	0.00	0.00	0.00	-25.00	-25.00	0.00	-25.00	-25.00	0.00
小売業	33.33	0.00	-11.11	25.00	11.11	-12.50	-33.33	-25.00	-11.11	-12.50	-22.22	-37.50
商店街	-40.00	-50.00	-40.00	-16.67	-40.00	-50.00	-40.00	-50.00	0.00	0.00	-20.00	-33.33
サービス業	42.86	14.29	28.57	14.29	42.86	14.29	0.00	0.00	14.29	-14.29	28.57	-42.86
建設業	-40.00	-60.00	0.00	-20.00	0.00	-20.00	0.00	-20.00	0.00	-20.00	0.00	-20.00
運輸業	-33.33	-66.67	0.00	0.00	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-66.67	-33.33	-66.67

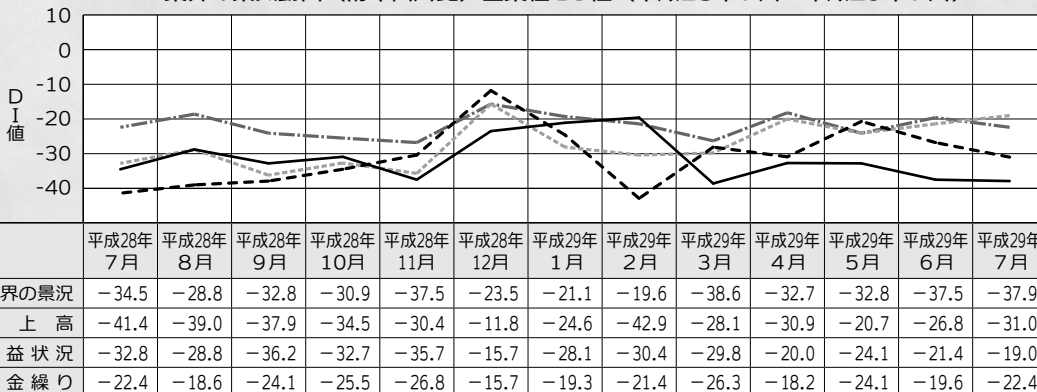
### 天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（D・I値）をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

### D・I値基準値

- 快晴 30以上
- はれ 10~30未満
- うすぐもり -10~10未満
- くもり -30~-10未満
- 雨 -50~-30未満
- 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種 DI 値（平成28年7月~平成29年7月）



## 食料品製造業

### <漬物>

国内原料が農家の高齢化により、どんどん少なくなっている。日本の食糧自給率の低下など、農産物加工業者は将来が大変心配である。

### <味噌醤油>

お中元モノが増えたために、売上、出荷量の伸びはあったが、昨年と比較しほぼ横ばいの状況。甘酒の消費量が増加している。消化も良く、継続性が期待できるものと実感している。

### <菓子>

閑散期に入り、厳しい運営が続く。また、原料の値上がりも続いている。ネット販売を手がける製菓会社との競争が現実味を帯びてきた。

### <乾麺>

7月に入り、暑い日が続き出荷量も上がってきた。前月までの減収分をカバーできるか。今後の天候次第である。

### <酒造>

売上げ状況は良くない。来月以降も厳しい状況が続くと思われる。29年産原料米も値上げが考えられるため、経費面でも厳しい1年だろう。

### <食品団地>

今月は天候不順や気温が上がらず季節商品の生産管理が難しかった。消費者ニーズが多様化する中で持続的な商品づくりが重要となってくる。今後も経済環境の変化や原油価格の変動等、収益に影響が出てくる見通しで難しい状況が続いている。

## 繊維工業

### <ニット>

好況なところもある反面、全体的には前年の95%位の厳しい業況である。

## 木材・木製品製造業

### <製材業>

春先から低調であった新築需要は、住宅着工意欲増で上向き傾向である。土木用材の出荷は、首都圏向けの荷動きが鈍り傾向にある。梅雨時期にしては、降雨日が少なく出材は昨年より多く、安定生産が続けられている。

### <外材輸入>

製材品の荷動きは、若干増加傾向ではあるが価格の押し上げには繋がっていない。

## 紙・紙加工品

### <紙器・段ボール箱>

今年に入り、はや7ヶ月が経ち激変する紙器業界は予測のつかない時代に入った。現在、紙器業界は紙代の値上げムードにあり、物流経費が増大している。また、段ボール生産業界にあっては、通販業界の成長と相まって過去最高の伸び率を示しているが、我々中小ボックスメーカーは、苦戦状態にある。

## 印刷

### <印刷業>

各社の業況についてはばらつきがあるが、業界全体としては低調といえる。大手製紙会社が、値上げの動きがあり、秋口以降に実施される見通しである。

## 窯業・土石製品製造業

### <碎石>

(県北地区)

- |            |       |       |
|------------|-------|-------|
| 1. 当月売上数量  | 前月比   | 約10%減 |
| 2. "       | 昨年同月比 | 約16%減 |
| 3. 本年度売上数量 | 昨年対比  | 約22%減 |
| 4. 原因・現状   |       |       |

新年度に入り4ヶ月が過ぎたが、未だ公共事業及び民間工事への納入が低迷している。

### <生コン>

平成29年7月の組合員生コン出荷数量は、155,532m<sup>3</sup>と対前年同月比-9.1%。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比-11.9%、官公需が-10.7%であった。

○民需の動向

対前年同月比 -11.9%

対前年同月比増加地区

県中地区：+5.4% 市内病院治療センター増築工事、マンション新築工事等

いわき地区：+47.0% ショッピングモール、製紙物流センター建設工事等

対前年同月比減少地区

県北地区：-36.2% 市内病院新築工事等

白河地区：-39.5% マンション建設工事等

相双地区：-17.7% 広野火発石炭貯蔵設備、第一原発固体廃棄物貯蔵庫建設工事等

会津地区：-3.7% マンション、老人ホーム建設工事等

○官公需の動向

対前年同月比 -10.7%

対前年同月比増加地区

会津地区：+102.5% 砂防施設工事、河東学園建設、城前団地建設工事等

対前年同月比減少地区

県北地区：-30.8% 福島市体育館新築工事、東北中央自動車道桑折高架橋工事等

県中地区：-32.8% 郡山市西田学園、須賀川市民交流センター建設工事等

白河地区：-16.3% 古殿町体育館建設工事等

いわき地区：-15.9% 港湾災害復旧、市内共立病院新築工事等

相双地区：-10.8% サッカー練習場新設工事等

## 鉄鋼・金属

### <鉄工工業>

(相双地区) 後継者不足が問題化している。仕事量も少なく先行きが不安である。



## 一般機器

### <各種プラント機器>

売上高は前月比1.7倍と大幅に改善されたが、前年同月比に於いては86.5%、前年累計比では66.4%と、全体的な回復にはまだ届いていない流れになっている。また、見積もり引き合い件数の減少も、今後の不安感含みの要因である。

## その他の製造業

### <漆器>

来店しても買わない、見るだけという消費行動パターンが定着した感じがする。都心百貨店も来店客が少なく、荷動きが鈍い。

## 卸売業

### <卸売業>

飲料品は、5月以降暑い日が続いた影響もあり、堅調に推移している。一方で、ビール関連商品は6月以降の値上げの影響で苦戦を強いられている。いずれにせよ、7月期も消費全般に特段変わった影響はみられず、川上の卸売業にも同様のことが言える。

### <再生資源>

古紙、鉄スクラップは前月に続き好調を維持し市中買取り価格も軒並み上昇している。しかし、古紙は7月末に輸出価格が下がり、8月以降、国内価格に影響を与える様相である。

### <米麦事業>

米穀の販売単価は昨年より上り、売上高は増えた。

## 小売業

### <共同店舗>

(Oショッピングセンター)

今月は、誕生祭のイベント・地区商工会夏祭り等があり好調であった。前月比、前年比共に売上高が伸びたが必需品需要のみで、お中元、お盆準備用品等の買い廻りは、縮小傾向であった。次月は、お盆用品・帰省客に期待している。

(Nショッピングセンター)

大手薬局チェーンの出店後、商品がバツティングする組合員の売上が10~20%減少している。

### <石油>

7月中旬以降、元売仕切が上昇となった。県内市場価格の平均は、ほぼ前月並みで推移しており、利益は圧縮されている。

### <水産物>

土用丑の日、うなぎ蒲焼きについては、前年に比べ価格は若干安くなった。予約注文は前年並みであったが、当日天候が悪かったため、予約以外の当日売上分については今ひとつであった。

### <青果>

豪雨の影響もあり野菜単価が部分的に高騰してきている。また、入荷数も少ない。家庭菜園の収穫も始まり小売の販売に影響が出てきている。桃の取扱も今月後半から少しずつ始まり、来月に少しでも取り扱いが

増加する事を期待したい。

### <家電>

天候不順のため、エアコンなどの荷動きが悪くなっている。個店数は、全国的に見ると、店主の高齢化などの影響により毎年約800店ほどずつ減少している。県内においても、毎年6~10店ぐらい減少している。

## 商店街

### <福島市>

猛暑が続き、人通りが減少したこともあったが、平均すれば人通りは昨年度と比較し変わらない状況。売上は年々減少傾向にある。

### <郡山市>

7月は大きな催事としてお中元があったが、お中元で前年比を伸ばすのは今はなかなか難しいよう。下旬は、市で毎年行っている通行量調査日であった。昨年はスマートフォン向けアプリの配信の始まりで、一時的に大幅増になったが今年は何のような結果になったか気になるところである。

### <南相馬市>

相馬野馬追が終了し、街は落ち着きを取り戻している。7月21日より市町村限定復興プレミアム商品券が南相馬市にて発行された。商店街連合会事業として豪華景品付きスタンプラリー抽選会を8月22日まで実施している。

### <会津若松市>

本格的な夏のシーズンに入り、猛暑に悩まされ昼中の客足にも少なからず影響があったように思う。季節のバーゲンに入ったが、売り上げに波があった。夏休みになり観光客、帰省客は多くなるが、大型店の撤退がこの時期は痛手に感じる。

### <いわき市>

天候には恵まれ、会員の中では大きく売上を伸ばした店舗もある。ただ、全体的には低調である。暑さで夏物セールが好調なスタートを切ったが、後半は街に人が出てこなくなり大型店へ流れるといった例年通りの動きである。夕方から飲食店に繰り出す人は多く、業種の差が大きく出た月であった。

## サービス業

### <旅館業>

(いわき湯本温泉)

業況は非常に厳しい状況にある。

(土湯温泉)

高温の日が続いたり、雨の日が続いたり天候不順の日が続く月であったことから人出は伸びないのが現状であった。夏休みに入っても子ども達の動きはあまり見られず、今年で6年目のコードF6でも子ども達の来訪が少ない。

### <美容業>

美容界もサロンワークの現場にアプリをインストールする事が多くなり、集客、顧客、スタイル集など、管理から決済・会計まで利用している。美容の現場では、技術者の手、センス、頭を使い仕事をしているが、一方では、そのアプリを活用した成功例が出てきてい

る。美容は、人対人の職場と思っていたが、人手不足などを補う側面もあるのかと考えさせられる。なぜなら、最近の消費者の財布の紐の固さが身近に感じるためだ。しかし、IT化の便利さはリスクと隣り合わせでもある。お客様自身がより納得できる安心・安全(技術・商品etc)で、望まれるサービスを提供するよう在り方を探っていきたい。

#### <理容業>

7月は1年の中でも12月に次いで忙しい月である。今年も天候に恵まれ、まずまずの状況であった。暑い日が続いたため夏メニューが人気で手入れの楽なクールビズヘアが好調で積極的に取り組んでいるサロンは成果を上げている。少しでもお客様に喜ばれる爽やかなヘアを提案し、頑張っていきたい。

#### <一般廃棄物収集運搬>

通常業務については前月同様の売上げを見込んでいる。産業廃棄物に関しては依然として排出量は震災前の水準には届かず、しばらくは増加することはないと思われる。雇用については組合員各社でも人材の確保については苦慮している。

## 建設業

#### <建設業>

(県南地区)

工事が建築・土木ともに減少しているため、景況の

悪化が継続している。県工事は中小規模の会社が受注できにくくなっている。民間建築工事も減少傾向が続いているが、太陽光発電などの民間土木工事は若干ある。

#### <管工事>

前月比・前年同月累計対比で、給水・排水設備申請とも減少している。

#### <専門工事>

公共事業にもダンピング受注等が目立つようになり、下請け業界としては今後一層の経営環境の悪化が想定される。

## 運輸業

#### <トラック団地>

(県北地区)

トラックドライバーの高齢化が進んでおり、若年層の採用を進めているが厳しい状況になっている。トラックドライバーは、労働時間が長いが高収入であり憧れの職業であった時代もあったが、現在は近距離中心で労働時間も改善され働きやすい環境が整ってきた反面、収入は一般的となり憧れの職業ではなくなった。また、若年層は車への関心も薄く、今後もトラックドライバー確保が難しい状況は続くと思われる。

#### <ハイヤータクシー>

低調傾向が続いている。